

令和元年度病床機能報告の報告結果の利用に係る留意事項

令和元年度病床機能報告の報告結果のご利用にあたっては、以下の事項についてご留意ください。

- 1 病床機能報告の報告対象は、一般病床又は療養病床を有する病院及び診療所です。
- 2 令和元年度病床機能報告の報告結果は、令和2年10月30日（金）までに報告されたものを基に作成しています。なお、当該日後に報告されたものについては、都道府県庁において個別に情報を更新している場合もありますので、最新の報告内容については、各都道府県庁のホームページをご確認ください。
- 3 病床機能報告の調査は、報告様式1（各病棟の医療機能等の基本情報）と、報告様式2（各病棟で提供している医療の内容等）の2回に分けて実施しています。報告様式1による基本情報の報告が完了していない病院及び有床診療所の情報（報告様式2のみ報告した医療機関含む。）は掲載していません。
- 4 病床機能報告の報告結果に掲載されている「オープンデータ病棟コード」は、同一医療機関の同一病棟であっても前年度とは異なるコードに変更している場合があります。
- 5 病床機能報告の報告項目の中で、医療機関から報告がなかった項目等は、「0」、「未報告又はデータ不備」又は「-」と表示しています。

○「0」と表示しているのは以下の場合です。

- 医療機関にて「0」と回答している場合
- 以下の項目において医療機関からの回答が空欄（ブランク）である場合
 - ※ 調査時に、空欄（ブランク）の場合は「0」とみなすことを周知していた項目
 - 病院病棟票

【報告様式1の該当項目】

- ◇ 2. 許可病床数・稼働病床数
- ◇ 4. 病棟部門の職員数
- ◇ 6. 入院患者数の状況
- ◇ 7. 入棟前の場所・退棟先の場所別の入院患者の状況
- ◇ 8. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況
- ◇ 9. 分娩件数

【報告様式2の該当項目】

- ◇ 1. 算定する入院基本料・特定入院料の状況～12.医科歯科の連携状況

- 病院施設票
 - ◇ 看取りを行った患者数
 - ◇ 救急医療の実施状況
 - ◇ 医療機器の台数
 - ◇ 退院調整部門の設置状況 > 退院調整部門に勤務する職員数
 - ◇ 職員数

➤ 有床診療所票

【報告様式1の該当項目】

- ◇ 5. 許可病床数・稼働病床数
- ◇ 7. 職員数
- ◇ 9. 入院患者数の状況
- ◇ 10. 入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況
- ◇ 11. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況
- ◇ 13. 往診、訪問診療を行った患者延べ数
- ◇ 14. 看取りを行った患者数
- ◇ 15. 分娩件数
- ◇ 16. 救急の実施状況
- ◇ 17. リハビリテーションの状況
- ◇ 18. 医療機器の台数
- ◇ 19. 退院調整部門の設置状況

【報告様式2の該当項目】

- ◇ 2. 有床診療所の多様な機能の状況～12.医科歯科の連携状況

○「未報告又はデータ不備」と表示しているのは以下の場合です。

- 報告様式1は提出されているが、報告様式2が提出されていない場合（該当項目は「1.算定する入院基本料・特定入院料の状況～12.医科歯科の連携状況」）
- 報告様式2において「手術総数」又は「全身麻酔の手術総数」の報告はあるが、その内訳となる「個別の手術の実施状況」の報告がない場合（該当項目は「臓器別の状況」）

○その他の項目で、医療機関からの回答が空欄（ブランク）又は不備の場合は「-」と表示しております。

- 6 病床機能報告の報告項目において、報告様式2に含まれる具体的な医療の内容に関する項目や救急医療の実施状況等については、件数が1件から9件までの場合に「*」として秘匿化して掲載しています。
- 7 病床機能報告の報告項目においては、医療機関の報告をそのまま記載しています。このため、以下の項目においては合計項目と内訳項目の各値が整合しない場合があります。

病棟票

合計値項目	内訳項目
2. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > 許可病床数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、医療療養病床 > 許可病床数 ➤ 2. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、介護療養病床 > 許可病床数
2. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > 稼働病床数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、医療療養病床 > 稼働病床数 ➤ 2. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、介護療養病床 > 稼働病床数
6. 入院患者数の状況【平成30年7月1日～令和元年6月30日の1年間】 > 新規入棟患者数(年間)	<p>6. 入院患者数の状況【平成30年7月1日～令和元年6月30日の1年間】 > 新規入棟患者数(年間) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ うち、予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者 ➤ うち、救急医療入院以外の予定外入院の患者 ➤ うち、救急医療入院の予定外入院の患者
8. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況 > 当該病棟から退院した患者数【1年間】	<p>8. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況 > 当該病棟から退院した患者数【1年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ うち、退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者（死亡退院を含む） ➤ うち、退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者 ➤ うち、退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者 ➤ うち、退院後1か月以内の在宅医療の実施予定が不明の患者
3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 手術総数	3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 手術総数 > 臓器別の状況
3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 全身麻酔の手術総数	3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 全身麻酔の手術総数 > 臓器別の状況

有床診療所票

合計値項目	内訳項目
5. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > 許可病床数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 5. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、医療療養病床 > 許可病床数 ➤ 5. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、介護療養病床 > 許可病床数
5. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > 稼働病床数	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 5. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、医療療養病床 > 稼働病床数 ➤ 5. 許可病床数・稼働病床数 > 療養病床 > うち、介護療養病床 > 稼働病床数

3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 手術総数	3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 手術総数 > 臓器別の状況
3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 全身麻酔の手術総数	3. 幅広い手術の実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 全身麻酔の手術総数 > 臓器別の状況
9. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 疾患別リハビリテーション料	9. 疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況【「令和元年6月診療分」であってかつ「令和元年7月審査分」】 > 疾患別リハビリテーション料 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 心大血管疾患リハビリテーション料 ➤ 脳血管疾患等リハビリテーション料 ➤ 廃用症候群リハビリテーション料 ➤ 運動器リハビリテーション料 ➤ 呼吸器リハビリテーション料 ➤ 障害児（者）リハビリテーション料 ➤ がん患者リハビリテーション料 ➤ 認知症患者リハビリテーション料

8 病院の病棟票および有床診療所票の取載項目について、令和元年度病床機能報告から以下の項目が新規に追加されています。

8.1 建物の建築時期（任意回答）

建物が完成した年について、西暦で回答が入力されています。建物が増改築されている場合は、増改築した部分としていない部分のどちらか面積の大きい方について回答されています。

※ 本項目は、4桁の数値（西暦）で入力する必要がありますが、報告の中には1桁や2桁の数値が入力されている場合があります。そのような場合でも、元号が特定できないことから、表示に当たって加工等は行わず表示をしています。

8.2 建物の構造（任意回答）

建物の構造についての回答が入力されています。本項目は選択式で、木造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・コンクリートブロック造・その他から適切なものを選択しています。複数の構造が混在している場合は、面積の最も大きい構造について回答されています。

8.3 t-PA 投与

一般病床・療養病床における令和元年6月診療分の「t-PA（アクチバシン・グルトパ）投与」の実施件数が入力されています。ただし、ICD10 対応標準病名マスターの「I63 脳梗塞」に対して投与している場合に限ります。

以上